



2021年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月4日

上場会社名 株式会社カナミックネットワーク 上場取引所 東
 コード番号 3939 URL http://www.kanamic.net/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 拓真
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理部部長 (氏名) 若林 賢也 (TEL) 03-5798-3955 (代表)
 四半期報告書提出予定日 2021年2月5日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期第1四半期の連結業績（2020年10月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第1四半期	533	27.1	203	103.5	206	103.7	143	106.9
2020年9月期第1四半期	419	—	100	—	101	—	69	—

(注) 包括利益 2021年9月期第1四半期 144百万円 (106.9%) 2020年9月期第1四半期 69百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第1四半期	2.98	—
2020年9月期第1四半期	1.44	—

(注) 当社は、2020年9月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2020年9月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第1四半期	2,283	1,953	85.5
2020年9月期	2,303	1,905	82.8

(参考) 自己資本 2021年9月期第1四半期 1,953百万円 2020年9月期 1,905百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期	—	0.00	—	2.00	2.00
2021年9月期	—	—	—	—	—
2021年9月期（予想）	—	0.00	—	2.50	2.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年9月期の連結業績予想（2020年10月1日～2021年9月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	1,030	13.3	370	24.4	370	16.7	258	21.1	5.36
通期	2,100	11.6	730	11.5	730	7.8	510	7.9	10.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年9月期1Q	48,132,000株	2020年9月期	48,132,000株
② 期末自己株式数	2021年9月期1Q	1,206株	2020年9月期	1,206株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年9月期1Q	48,130,794株	2020年9月期1Q	48,130,794株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により国内外を問わず家計や企業の活動が制限されたことに伴い、景気は依然として厳しい状況にあります。持ち直しの動きがみられております。

当社グループを取り巻く環境におきましては、超高齢社会の到来に伴い、介護費、介護保険サービス利用者数及びサービス提供事業者数は増加し、介護事業全体の底上げが続いております。2018年度の介護保険制度改正では、高品質かつ効率的な介護サービスの提供可能な体制整備を推進する観点から、地域包括ケアシステムのより一層の推進と、ICTの活用及び介護の担い手の拡大などが謳われており、また、介護保険法において各市区町村における在宅医療・介護の連携推進が義務化されるなど、医療・介護事業全体でサービス提供のより一層の効率化が求められております。

このような状況のもと、当社グループは、医療・介護をつなぐ地域包括ケアを実現するシステムを提供していることから、各省庁との共同プロジェクトに参加し、国の政策と同じ方向性をもつシステム開発会社となるよう努めるとともに、介護保険制度改正に対応する準備を整え、継続して適時にシステム改修を行い、システム利用者の負担軽減により、ユーザーの利便性の向上を図っております。総務省の「IoTサービス創出支援事業」の実証実験を通じて「カナミッククラウドサービス」を基軸とした介護における各種データの活用連携を進めるとともに、「東京都多職種連携ポータルサイト」を通じて、従来の市区町村に比べてより広範囲な都道府県単位での在宅療養推進体制に寄与するなど、当社グループの「カナミッククラウドサービス」で培った医療・介護連携のノウハウが地域の医療・介護連携に貢献しております。また、高齢者支援事業とあわせ、「子育て支援システム」を通じて自治体の子育て支援事業の効率運用に寄与しております。また、遠隔医療に豊富な実績のある国立大学法人 旭川医科大学と「遠隔医療・介護のIoTクラウド利用の地域包括ケア・グローバルモデル構築」を目的とした共同研究も前期に引き続き実施しております。新たな事業といたしましては、介護事業者における介護サービス利用者向け請求書・領収書の「発行」「連絡」業務に対するソリューションサービスとして、業務をWeb上で完結できるDX（デジタルトランスフォーメーション）サービスとしての「カナミックかんたんWeb 明細」、実作業の事務代行を行う「カナミックかんたん郵送代行（BPO）」をそれぞれ開始いたしました。一方で、当社システムのプラットフォーム化の一環として、コンテンツサービスの充実、人材データベースマッチングサービスや医療・介護事業者向け販サービスの稼働、サービス付き高齢者向け住宅におけるIoT連携など、他社との業務連携を進めてまいりました。

さらに、当社グループのシステムがプラットフォーム化に対応していくことに伴い取得される患者・要介護者等の情報をビッグデータとして解析し、国や自治体、保険会社等が必要としているエビデンスを見つけ出すAIサービス等の展開を通じて医療・介護分野における地域連携をさらに推進させ、患者・要介護者、全ての医療・介護事業者にソリューションを提供するための研究活動も実施しております。

なお、新型コロナウイルス感染症の流行拡大に伴い当社グループの主たる顧客である介護事業者の一部において、介護事業の活動が制限される状況となっておりますが、現時点における当社グループへの影響は軽微となっております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高533,473千円（前年同期比113,848千円増、27.1%増）、営業利益203,951千円（前年同期比103,718千円増、103.5%増）、経常利益206,801千円（前年同期比105,273千円増、103.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益143,646千円（前年同期比74,211千円増、106.9%増）となりました。

また、当社グループは、医療・介護分野における情報共有プラットフォームの構築を目的とする事業ならびにこれに付帯する業務の単一セグメント事業であるため、セグメント情報は記載しておりませんが、個別サービスごとの売上高は以下となります。

i カナミッククラウドサービス

カナミッククラウドサービスはストックビジネスをメインとしており、既存顧客のストック部分をベースに、継続的な新規顧客の獲得を続けた結果、売上高は435,410千円（前年同期比39,402千円増、10.0%増）となりました。

ii プラットフォームサービス

プラットフォームサービスにつきましては、大手介護事業者からの依頼によるホームページ構築業務や公益財団法人介護労働安定センターを通じた介護事業社向けホームページの受託制作、運営・管理が安定した収益基盤となっており、また介護関連情報を提供するインターネット広告サービスや情報共有プラットフォームを通じた新型コロナウイルス対策商品の販売など各種サービスの提供を手がけることで、売上高は67,450千円（前年同期比52,342千円増、346.5%増）となりました。

iii その他サービス

その他サービスにつきましては、大口顧客向けカスタマイズ開発の受託などにより、売上高は30,612千円（前年同期比22,102千円増、259.7%増）となりました。

（利益の概況）

売上高が増加する一方で、プラットフォームサービス及びその他サービスに関連する商品仕入高や制作費等が増加したことにより、売上原価が前年同期に比べ50,275千円増加し97,849千円となりました。この結果、売上総利益は435,624千円（前年同期比63,572千円増、17.1%増）となりました。また、国立大学法人 旭川医科大学との共同研究期間が最終年度であることに伴う試験研究費の減少や、コロナ禍におけるテレワークやリモート会議等の経営効率化を進めたことにより、販売費及び一般管理費が前年同期に比べ40,146千円減少し231,672千円となりました。この結果、営業利益は203,951千円（前年同期比103,718千円増、103.5%増）となりました。

テレワーク導入による補助金収入1,599千円、為替差益867千円等により、営業外収益が前年同期に比べ1,477千円増加し3,013千円となり、営業外費用が前年同期に比べ76千円減少し162千円となりました。この結果、経常利益は206,801千円（前年同期比105,273千円増、103.7%増）となりました。

これらの結果、税金等調整前四半期純利益は206,801千円（前年同期比105,273千円増、103.7%増）、法人税等合計が前年同期に比べ31,061千円増加し63,154千円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は143,646千円（前年同期比74,211千円増、106.9%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ19,108千円減少し、2,283,894千円となりました。これは主に、カナミッククラウドサービスの新機能追加によりソフトウェアが8,827千円増加する一方で、法人税及び配当金の支払により現金及び預金が28,520千円減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ67,023千円減少し、330,132千円となりました。これは主に、支払により未払法人税等が72,292千円減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ47,914千円増加し、1,953,762千円となりました。これは主に、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益により143,646千円増加する一方で、配当金の支払により96,261千円減少したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年11月6日に公表いたしました2021年9月期業績予想につきましては、現時点において変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,706,530	1,678,010
売掛金	74,151	96,399
仕掛品	6,526	982
その他	77,716	66,614
貸倒引当金	△13,493	△13,649
流動資産合計	1,851,431	1,828,357
固定資産		
有形固定資産	51,304	51,868
無形固定資産		
ソフトウェア	306,201	315,028
その他	76	76
無形固定資産合計	306,277	315,105
投資その他の資産		
その他	94,246	88,819
貸倒引当金	△256	△256
投資その他の資産合計	93,989	88,563
固定資産合計	451,571	455,537
資産合計	2,303,003	2,283,894
負債の部		
流動負債		
買掛金	22,725	21,596
未払法人税等	129,194	56,902
賞与引当金	31,227	14,081
資産除去債務	16,000	16,000
その他	185,999	209,516
流動負債合計	385,146	318,097
固定負債		
資産除去債務	11,209	11,235
その他	800	800
固定負債合計	12,009	12,035
負債合計	397,155	330,132
純資産の部		
株主資本		
資本金	192,060	192,060
資本剰余金	132,060	132,060
利益剰余金	1,582,485	1,629,870
自己株式	△478	△478
株主資本合計	1,906,127	1,953,512
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△278	249
その他の包括利益累計額合計	△278	249
純資産合計	1,905,848	1,953,762
負債純資産合計	2,303,003	2,283,894

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)
売上高	419,625	533,473
売上原価	47,573	97,849
売上総利益	372,052	435,624
販売費及び一般管理費	271,819	231,672
営業利益	100,232	203,951
営業外収益		
受取利息	1	—
為替差益	1,533	867
補助金収入	—	1,599
雑収入	—	546
営業外収益合計	1,535	3,013
営業外費用		
雑損失	239	162
営業外費用合計	239	162
経常利益	101,528	206,801
税金等調整前四半期純利益	101,528	206,801
法人税、住民税及び事業税	29,825	55,086
法人税等調整額	2,267	8,068
法人税等合計	32,093	63,154
四半期純利益	69,435	143,646
親会社株主に帰属する四半期純利益	69,435	143,646

（四半期連結包括利益計算書）
（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2019年10月1日 至 2019年12月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2020年10月1日 至 2020年12月31日）
四半期純利益	69,435	143,646
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	236	528
その他の包括利益合計	236	528
四半期包括利益	69,672	144,175
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	69,672	144,175
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報）

当社及び連結子会社の事業セグメントは、医療・介護分野における情報共有プラットフォームの構築を目的とする事業ならびにこれに付帯する業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。